

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	22227002	研究期間	平成22年度～平成26年度
研究課題名	生殖制御における新規脳内分子機構の解明	研究代表者 (所属・職)	筒井 和義 (早稲田大学・教育・総合科学学術院・教授)

【平成25年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
○ A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>研究代表者が発見した生殖制御の抑制脳内タンパク分子である GnIH について、当初、研究計画調書に設定された研究課題の項目について、この2年間で着実に成果を上げている。これらは性行動を基盤とする本能行動を理解するのに今後、重要な貢献をするであろう。また臨床応用にも結びつく可能性があり、今後の発展が期待できる。さらに GnIH の発現が時計機構により制御されていることの発見や、GnIH の研究の延長として松果体からの新ホルモン、アロプレグナノロン、が発見されるなど、期待以上の成果を上げている。</p> <p>成果の公表についても原著、総説、学会発表、新聞報道など、いずれも十分な成果を上げている。</p>	